

1 利用制度への転換について

- (1) 受益者負担を原則としながら、利用登録制度から施設利用制度への転換を行う。
- (2) 当該施設が公の施設となった場合、指定管理者制度の導入を検討する必要がある。
- (3) 利用期間は1年とし、年度途中からの利用に対応するため、月額単位を設けることとし、使用しない残りの月数分の使用料を返還します。

(3) の料金体系について(案)

	期間	問題点
A案	1年間の1種類	還付件数が多くなる。
B案	1年間、6か月間の2種類	ステッカーの種類が多く、事務が煩雑
C案	1年間、6か月間、1か月間の3種類	ステッカーの発行枚数が多く経費が大

(参考)

松戸市の利用券販売状況(平成15年度資料)

	件数	割合(%)
販売数	133,543	
1ヶ月	96,548	72.30
3ヶ月	30,028	22.49
6ヶ月	6,967	5.22

松戸市では券売機をリース契約しており、7年間のリースで1台当りの年間リース料金は約200万円である。

松戸市の定期利用料金(月額)

区分		屋根あり		屋根なし	
		最寄の駅からの	最寄の駅からの	最寄の駅からの	最寄の駅からの
自転車	一般	1,500円	1,200円	1,000円	800円
	高校生以下	1,000円	800円	700円	500円
原動機付自転車		2,200円	1,800円	1,700円	1,400円

2 施設利用料金設定に係る基本的な考え方について

(1) 料金格差の設定について

- 市内居住者と市外居住者の料金格差
- 施設グレードによる料金格差
- 高校生以下の利用者に対する料金割引
- 原動機付自転車の利用料金

(改正案)

格差	現 状	改正案	問題点
	市外居住者は市	格差を廃止する。	市外居住者の料金が安価になる。
	格差なし	4段階の格差をつける	料金の収納が複雑化する。
	高校生以下は	割引率を2～3割とする	料金の収納が複雑化する。
	自転車の倍額	改正なし	占有面積が約2倍のため問題なし

の格差案

ランク	自転車駐車場の場所
A	江戸川台階層式(1F)
B	江戸川台階層式(2F)
C	平置式で登録率が50%以上
D	平置式で登録率が50%未満

(2) 施設の改修について

各自転車駐車場の現地確認を行い、平成17年1月に行った利用者アンケート調査で施設整備要望の多かった照明設備の増設や排水設備の改良、転倒防止柵の設置を予定し、現在、工事発注に向けて準備を進めています。

平成17年度管理運営経費から算出した料金の設定

平成17年度決算額

経費内容	金額
管理運営費	44,450,967
職員人件費	21,288,658
放置対策費	7,556,907
計	73,296,532

平成17年度登録台数及び収容台数

単位：台数

登録台数	15,469
収容台数	10,764

自転車駐車場運営経費

単位：円

区分	金額	1台当りの年経費
管理運営費のみ	44,450,967	4,129
管理運営費 + 改修工事費	54,026,967	5,019
管理運営費 + 改修工事費 + 職員人件費	75,315,625	6,996
管理運営費 + 改修工事費 + 職員人件費 + 放置対策費	82,872,532	7,699

\*1台当りの年経費は、金額を収容台数で除した数値です。

\*改修工事費は、平成19年度に実施する工事の予算額で、耐用年数を5年間と考え5分の1の金額を計上しました。

改修工事費予算額	耐用年数	1年当りの経費
47,880,000	5	9,576,000